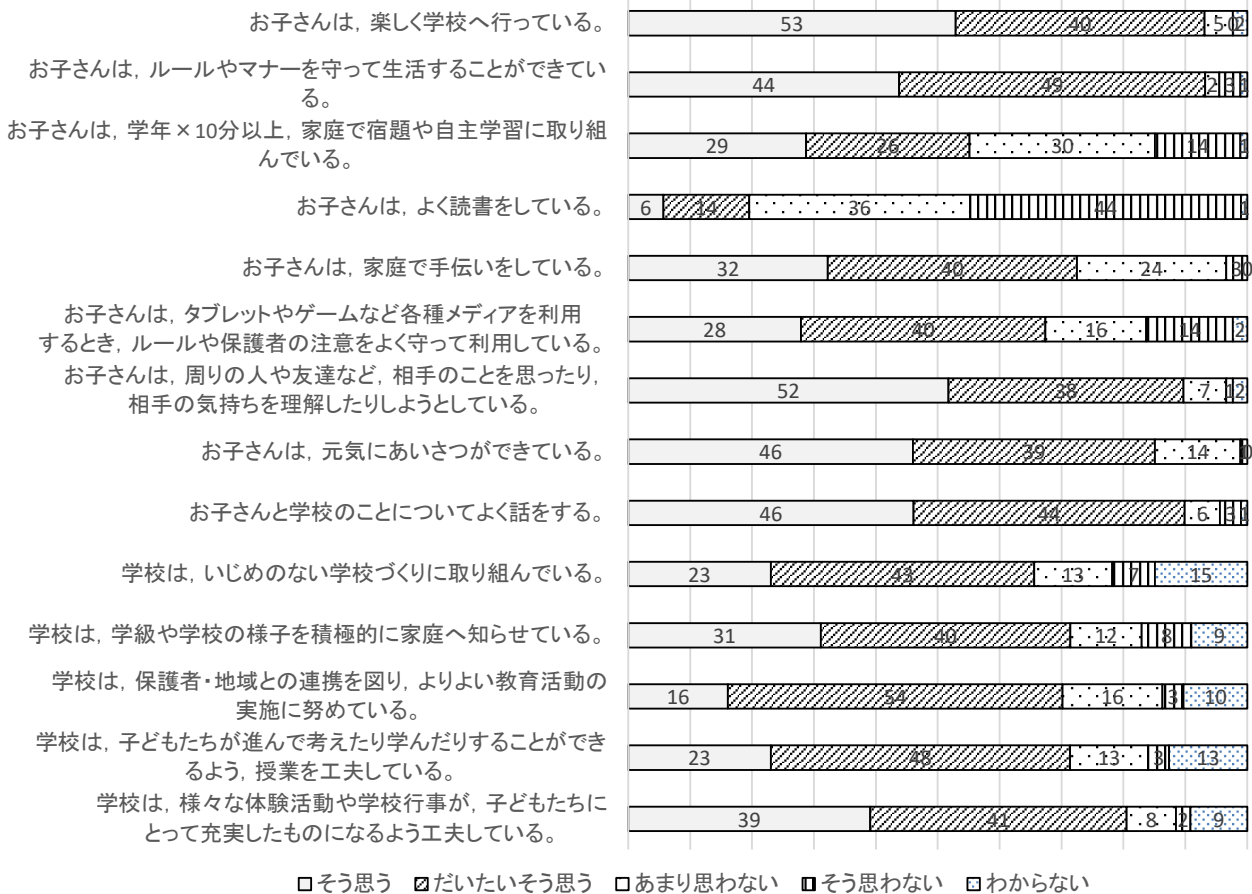


保護者アンケート結果

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



〈考察〉

○「子どもが楽しく学校へ行っている」は肯定的評価が93%であった。今後も学校教育全体を通して、引き続き100%となるよう努力をしていく。

○「ルールやマナーを守って生活できている」「元々なあいさつができる」「友達を大切にしようとする心」が育っている児童が多い。それぞれの取組の更なる改善を行い、継続させる。

○体験活動等について、できる限り現地に出かけたり外部講師を招いたりして体験的な学習や本物に触れる学習の充実を図ってきた。今後も各教科や学校行事との関連を図り、また児童の興味・関心を考慮しながら、体験的な学習や講師の招聘について積極的に行っていきたい。

○家庭学習や読書について、家庭学習の仕方の更なる徹底や読書に興味を持たせる取り組みを行い、充実を図っていく。また、メディアの利用の仕方についても、外部講師による専門的な立場からの講演やモラル学習の充実、メディアを使わない日を呼びかける等しながら、適切な利用を促していく。

○いじめ防止について、些細なことも全教職員で共通理解を図り、組織として対応する体制を継続するとともに、保護者への細やかな連絡に心がけ、だれもが安心して生活できる環境作りに努める。

○情報発信・地域や保護者との連携について、学校通信やホームページ、学級通信などで情報を積極的に届け、学校教育に対する保護者や地域の方の理解を得る努力をするとともに、学校支援ボランティア等の活用や学校運営協議会委員の皆様のご意見等いただきながら、学校・保護者・地域が一体となって子ども達の学びを推進していくよう努力していく。

○授業研究会や授業力研修の充実を図り、子ども達が主体となって活動できる、楽しい授業の実践に努めていく。